

《大変容》に関する報告書——第 888 号
『岩戸隠れ』

常世財団《大変容》調査部

I. 序

本稿は《大変容》¹に関する一連の現象・事件・事故などの調査成果を纏め、報告書としたものの一つである。《大変容》に纏わる現象等の概要や原因などについての論考も記載する。詳細な論考・研究については別稿に譲る。合わせて参照されたい。

→参照：「常世財団データベース第 800 層」【閲覧規制：要閲覧権限特 A】

《大変容》直後から数年は非常な混乱、世界秩序の喪失のためにはっきりした記録が残されている事が少なく、本報告においても一部不明とせざる点があったことを了解いただきたい。《大変容》直後は、時空の歪みなどのために異世界との融合がかなりの割合で進んでおり、果たしてこの「地球」における出来事であるのか、あるいは並行する世界の出来事なのか判然としないところも存在する。

本稿では、日本国にて発生した『岩戸隠れ』について報告する。

II. 『岩戸隠れ』概要

日時：《大変容》 / 《復活》²直後

場所：日本国

原因：「門」の出現に伴う皆既日食、《復活》による神性の復活

分類：神話型

類似現象：中東『黙示録』^{Apocalypsis Iohannis} (第 666 号)、北欧『神々の黄昏』^{Ragnarok} (第 1876 号)、発生場所不明『<運命の鳥>』^{Mosahon} (第 1905 号)、地球全土『呼び声』^{Call of Cthulhu} (第 1925 号) 等

《大変容》直後、あるいは同時に起こった災異。「神話型」に分類される。名称は『古事記』『日本書紀』のいわゆる「天岩戸（岩屋）神話」から取られている。日本国にて発生し、日本国全土に多大な被害を齎した。その他「神話型」の災異と同様、《復活》

¹ 《大変容》 21 世紀初頭に勃発した諸現象については様々な呼称が存在するが、本稿では便宜上、《大変容》を用語にてこれを表す。

² 《復活》 上記《大変容》によって、あるいは同時に世界全土で発生した現象。神話や伝説上の存在が地球に「復活」「帰還」を遂げたことを指す。あるいはこれまでこれらの神性を認識できなかった者がそれらを認識できるようになったことから、《顕現」とも。これにより様々な「神話型」の災異が発生した。

とも強い関係を有する。

《大変容》直後に発生した皆既日食により、日本国のみが闇に閉ざされ、「常夜征く」状態となった。この皆既日食は日本国でのみ確認されている。この皆既日食は、日本に現れた「門」の影響と考えられ、「門」より現れた闇（常夜/天津罪）によって引き起こされたと想定される。これにより、太陽によって齎されていた日本国の「秩序」「霊的防御」が失われる。《復活》に伴う神性の現実世界・地球への復活・帰還は日本国でも起こり、「秩序」「霊的防御」が失われたがために、無秩序と混沌の神性・怪異が列島全土に出現し、都市・国民に尋常ならざる被害を齎した。山は枯れ、川や海が干上がるなどの現象もこれによって引き起こされ、まさしく『古事記』『日本書紀』の「天岩戸（岩屋）神話」を彷彿させる状態となった。

「荒振る神」とも称される神性が日本全土で「復活」を遂げたことも報告されている。これもまた「神話型」の災異の特徴と一致する。《大変容》直後に起きた日本国での災異の原因はこの『岩戸隠れ』にあるということが出来る。

この事態の收拾のために日本国に存在していた魔術結社が動き、様々な神事も行われた。それぞれの魔術結社や魔術の家の活動については、それぞれの当該報告書を参照の事。

III. 『岩戸開き』概要

日本全土で起こった《復活》への対処は上記した魔術結社などが行い、成果を上げたことが確認されている。しかし、決定的な解決には至らなかった。

ここで、とある魔術結社が動き、『岩戸開き』の神事を行ったことにより、太陽を覆う闇（常夜闇/天津罪）が祓われ、再び日本国に太陽が出現した。これによって、日本国を襲った災異は全て消失した。

この『岩戸開き』を行った魔術結社については、奈良県橿原市の「天香山」で何かしらの神事・魔術をおこなったことが確認されているが、《大変容》直後という状況のため明確な記録は残されておらず、ほぼ全てが不明と報告せざるを得ない。更なる調査を要する。

《復活》による神話存在・神性の働きによるものではないという説も存在するが、明確な証拠などはなく、現時点では不明と結論付けるほかなし。

【秘匿情報有り：要閲覧権限特 A 以上】 → 【閲覧】

本件を解決したるは当財団所属機関である、神代の「岩戸開き」を行った神々の子孫により構成される『天の朝廷』である。それらによる「神話」の再現、「天岩戸神事」により、本案件は解決した。「神話型」の現象について、「神話」再現による

効果が立証された。

【閲覧終了】

IV. 結

以上が『岩戸隠れ』に関する報告となる。《大変容》に伴う「門」の解放と《復活》によって引き起こされた現象であるが、明確な解決方法については未だ不明と言わざるを得ない。早急な考察研究が必要である。現在は《大変容》直後のような世界規模での時空間の歪みの出現は僅少であるが、上記のような現象の発生の可能性は未だ存在している。

《大変容》直後は本件のような「神話型」の現象が世界規模で確認された。《大変容》の原因については複合的であったという説が現在賛を得ているが、同様に「神話型」の現象も一つの原因のためではなく、複合的な要因によって齎された可能性が存在する。当報告を含め、早急に《大変容》関連の報告をまとめ、これらの災異についての対策を立てることが期待される。